

自然環境の保全、環境教育に取り組んでいます。今号では、2018年度前半(4~9月)の活動についてご報告します。

葛城地区大規模緑地里山クラブ ※茨城県委託事業

オオムラサキの棲む里山づくり 森づくりボランティア

里山林の再生整備と活用をめざし、葛城フォレスタ―による維持管理活動を継続、今年から植生ボランティア(登録制)を組織して月2回活動中。一般参加の森のボランティアも5回実施しました。里山クラブ春の交流会に57名が参加、毎月の里山散歩(観察会)も好評です。

民有地の保健保安林では、オオムラサキをはじめとする多様な生物が暮らせる森をめざして、2003年より手入れ活動を継続しています。6~8月、筑波学院大の学生や企業も参加して森ボラを4回実施。



植生ボランティアでポット苗づくり 交流会で水辺づくりも実施 森ボラの成果でスマレが満開(4月)学生・企業が参加(8月)

里山ワンダーランド探検隊

しぜんっこくらぶinゆかりの森

「残された里山を子どもたちの体験の場に！」を合言葉に、大規模緑地に隣接する保健保安林で、親子対象の里山ワンダーランド探検隊を実施しています。市街地の隣にある貴重な多様性あふれる森で植物や昆虫の観察を行い、タケノコ掘りや畑づくり、栗拾いなど里山が育む恵みを体験しました。

今年度も、幼児親子対象の自然体験教室を、30組×2クラスでスタートしました。5月新緑の森散策、6月じゃがいも掘り、7月ザリガニつり、9月森で生きもの探しを実施。昨年の修了生の新人ボランティアも2名加わりました。詳細は、ボランティア「殻斗」のブログ <http://kakuto-tef.blogspot.jp/>参照。



オオムラサキを見守りながら今年も活動 夏にはカブトムシもたくさん! 今年度も60組で活動を開始 ジャガイモも豊作!

生きものと共存する米づくり

筑波大学里山実習

自然豊かな谷津田の存続をめざす「すそみの田んぼ」では、5/12 田植え、6/30 ホタル観察会、9/22 稲刈りを31組の体験つきオーナー家族と行いました。オーナーが田んぼで観察や体験を継続する「田んぼのオープンデー」を6回実施しました。

自然保護講座の学生たちが、平成27年より葛城大規模緑地とすそみの森でセンサーカメラを1か月間設置して野生動物の記録を撮り、野生動物と人とのかかわりを考える実習をしています。今年の成果が楽しみです。



体験付きオーナーの田植え 稲刈り (オダがけの前で記念撮影) 里山の保全や管理を説明 それぞれ5カ所にカメラ設置

ter 筑波山ファンクラブ

筑波山の自然を学び見守る活動を継続しています。毎回の観察記録は「筑波山便り」にまとめ、登録メンバー(122名)に配布しています。4/22 裏筑波のカタクリと早春の植物、5/6 筑波山麓新緑ハイク、6/3 朝日峠～雪入山、7/1小町の里～小野越え、8/11 筑波山自然研究路、9/2 広根場林道の観察会を実施。植物の開花状況等を記録しながら、自然を楽しみました。



7月小町山山頂にて



8月筑波山での自然観察

ter 筑波山自然インストラクター

筑波山自然インストラクターのメンバーが、学校の野外活動や授業に出向いて子どもたちと活動しています。7/3 筑波山の自然学習(御幸ヶ原～自然研究路) 荖崎第一小3年107名(インストラクター3名)、10/5 筑波山登山における自然解説(おたつ石コース) 福岡小3、4年生30名(インストラクター2名)



福岡小 御幸ヶ原で自然解説 筑波山の生立ちを説明

ter つくば里山たのしみ隊(高崎自然の森)

つくば市農業政策課と協働で、里山の森や池を残している高崎自然の森を活用する自然体験事業を年5回実施しています。前半は、春の森を親子で楽しむ活動や、夏休みの子どもたちと生きもの調査をする活動などを行いました。

※つくば市委託事業

5/20 春の森探検+ピースオブフォレスト(72名)

7/25、8/1 森の生きものマップづくり I II (2回計67名)



5月オリジナル植木鉢で苗木づくり



夏休み生きものマップを作成

ter 筑波山自然環境教育事業

つくば市環境課と協働で、筑波山及びそのつながりのある地域の自然環境を学習する事業を年間4回実施しています。今年度前半、4/23 筑波山の春植物、6/24 つくばの里山(平地林と谷津田)をテーマに学習活動を行いました。つくば市環境サポーターの皆さんが参加し、つくば市の自然環境について学びを深めていただきました。

※つくば市委託事業



4月筑波山でカタクリの調査



6月葛城で平地林の観察

ter 筑波山麓自然学校(筑波ふれあいの里)

筑波山麓の自然や里山の文化を学ぶ講座を、年間11回開講しています。自然観察、農体験、生き物に触れ合う活動など、親子で楽しく学ぶプログラム5回を実施しました。 ※つくば市委託事業

6/17 ジャガイモ収穫・自然散策(63名)、7/21 発見・体験・沢遊び(74名)、7/29 昆虫ナイトウォッチング(17名)、8/19 沢の生きもの観察会(34名)、8/25 虫・むし探検隊(29名)



7月発見・体験・沢遊び



8月虫むし探検隊

ter 調査活動(つくば市内・筑波山)

つくば市文化財課の依頼を受けて平成27年度よりつくば市内の自然文化財の調査を継続。4年目の本年は、つくば市北部地域の巨樹やつくば市の天然記念物ホシザキユキノシタの調査を行ないました。また、森林総合研究所の依頼を受けて、筑波山の1haモニタリングサイトの樹木調査も実施しました。



巨樹を調査



学生も参加して筑波山で樹木調査

事務局より

つくば環境フォーラムの活動フィールドは、つくばの市街地周辺に残された平地林、筑波山麓の谷津田と森、筑波山系と各所にわたっています。自然を豊かにする人のかかわり方を模索しながら、自然環境の保全と自然を活かした環境教育活動に、行政や企業とも連携しながら、継続的に取り組みます。皆様のご参加、ご協力をお願いいたします。